



じいちゃんも、ばあちゃんも、頑張るぞ

神拝地区人権教育をすすめる会では、西条北中学校の生徒による発表をきっかけに、新たな学びの輪が広がっています。中学生の真摯な姿勢と熱い思いに突き動かされ、会では単なる講演会にとどまらない、より多くの人に学びを届けるための工夫を重ねてきました。今回は神拝地区人権教育をすすめる会からのレポートをお届けします。

中学生の「思い」が大人を突き動かす

神拝地区人権教育小地域懇談会では、西条北中学生に学習したことを発表してもらっている。講師の先生のお話しに考えさせられることも多いが、中学生の20分弱の発表への反響も大きい。なぜだろう？ それは、中学生たちの真摯に学ぶ姿勢、そして、中学生たちが語る熱い思いに感心させられるからだ。「学んでよかった。差別者になるところだった」「学びを少しでも多くの人に伝え、差別をなくす立場に立ちたい」。こうした言葉が、大人の心の中に眠っている「自分もよりよく生きたい」という思いを呼び起こす。

私たち神拝地区人権教育をすすめる会のメンバーも心揺さぶられ、「私たちも何かしたい」と、一念発起。そして、講師を招いての講演の時間をメンバーの学びを伝える場に変える。題材は、部落問題。「また部落問題？と言われなにか不安だ」という意見も出たが、まだまだ知らぬことばかりなのが現実。「被差別の人たちによって育まれた日本の伝統文化」について調べることにし、「太鼓」「庭園」「能・狂言・歌舞伎」「医学」を取り上げた。

笑いと対話でつなぐ劇団「田中」結成

こうして迎えた9月の小地域懇談会。緊張で震えながらの発表であったが、自分たちの精一杯の思いを伝えたと感じている。毎年行っている1月の人権講演会をカフェスタイルで行い、9月の発表内容をさらに精選して取り組んだ。また、公民館職員も一緒に、劇団「田中（会長名）」を結成。みんなで寸劇を取り入れたワークショップを行う。大事なセリフは、一つずつ。そのほかはアドリブだらけの寸劇。84歳の幼稚園児「ヒロ君」は、劇団の看板役者。劇の完成度は別として、目指すのは、みんなが劇を題材に語り合うこと。それを形にできたことが何よりうれしい。

胸を張ってもいいかな？「じいちゃん、ばあちゃんがちょっとだけ頑張ったこと」。



株式会社
弓山建設

新築 リフォーム ガレージ 店舗

西条市中野甲1288-1 愛媛県知事登録(ハ)第3136号

MUSBELL

うちの子も **結婚** できました!

お気軽にご連絡ください

独身のお子様の結婚相談

マル適マークCMS取得 ムスベル株式会社
結婚相談所ムスベル松山

0120-138-026

松山市千舟町4-5-2 平成ビル5階 通話料無料 営業時間:10時~19時 定休日:第2・第4水曜日

有料広告